

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 18 日

評価対象事業	健福 - 44	予防接種事業	☐ 法定受託事務
所管課	健康福祉部 市民健康課		評価者 市民健康課長 那須 文嘉
一般	会計	款 20 項 5 目 5	
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉	施策の方針名 健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	市内在住の乳幼児等	意図	感染症の発生、まん延を予防するため。
効果	抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	予防接種事業	予防接種事業	予防接種事業
予算額（千円）	844,434	820,231	
国県支出金	45,314	26,922	
地方債			
その他			
一般財源	799,120	793,309	0
当初人員配置数	6.5	6.5	0.0
人件費（千円）	26,867	28,009	0
事業実績	予防接種事業		
決算額（千円）	558,234		
国県支出金	961		
地方債			
その他			
一般財源	557,273	0	0
人員配置実績数	6.5	0.0	0.0
人件費（千円）	26,232	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	接種対象者へ案内の送付	回	1	⇒	1		
	実績につながる活動	接種対象者へ対して案内を送付した。				1,446		
活2	指標名	未接種者へ勧奨ハガキの送付	回	1	⇒	1		
	実績につながる活動	未接種者へ対して勧奨ハガキを送付した。				213		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	例年どおり、接種対象者及び未接種者に案内を送付したため、達成できたと評価する。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結 果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	A類疾病の予防接種の接種率（HPV以外）	%	89.2	↗	88.1			1 2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	成果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	昨年度より接種率は1.1%減少しているが、高い接種率を維持することができた。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	昨年度に引き続き、接種対象者へ案内の送付及び未接種者へ勧奨ハガキの送付を行い、接種者対象への勧奨を行うことで、高い接種率を維持することができた。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
		評価実施年度の方角性	⇒ 評価実施翌年度以降の方角性		
	事業内容の方角性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方角性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	例年どおり、接種対象者及び未接種者に案内を送付していくが、今後、未接種者に対しての適切な勧奨方法について検討を行っていく。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	麻しん風しん混合予防接種 第2期対象者 接種率（厚生労働省により市町村ごとの接種率が集計されており、他市と比較できるため計上）※令和8年6月現在、厚生労働省で集計中であるため、令和6年度の接種率。								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	秦野市	海老名市	厚木市
他市実績	83.0%	92.2%	90.9%	88.7%	88.2%	88.7%	88.7%	92.5%	89.4%

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	年度ごとに対象の生年月日が定められている、麻しん風しん混合予防接種第2期の接種率は、対象者数が近い県内他市と比較すると若干ではあるが低くなっている。引き続き接種勧奨を行っていく。
----------------------	---